



Chin National Community - Japan
在日チン民族協会
ချင်းတိုင်းရင်းသားများအဖွဲ့အစည်း - ဂျပန်
www.cncjp.org

63 回目のチン族記念日の告示

2011年2月20日はチン民族達の(63)年目のチン族記念日です。ビルマが民主主義国になれること、人権が平等に得られること、真の連邦主義国を実現させること、軍事独裁制度がなくなることを目的として活動を行っている在日チン民族協会(日本) Chin National Community-Japan(CNC-Japan)から(63)年目のチン族記念日に告示を行います。

チン族記念日の意味はチン民族達が自分達の社会内の統治制度を人権が完全に得られる民主主義制度で統治すること、連邦国内では連邦主義国制度で各民族が平等に権利を得られることという内容です。世界でチン民族達は自分達の地域を所有している民族である事を発表致します。

チン民族は大昔から自分達の領域で自由に領域主制度で統治し、他の民族による植民地統治制度を受け入れない民族でした。イギリス植民地主義者達はビルマ王国を1885年に完全に占有しましたが、チン民族やチン山脈を1885年に占領支配できませんでした。数回戦い1890年からチン山脈を段々占有しました。1896年 Chin Hills Regulation Act を定めた時からチン社会の所有地域や統治制度はイギリス政権の下に完全に落ちました。

植民地制度の反対戦争やイギリス政権から独立できるよう活動した際にビルマ人を含め各民族達は戦争に参加しました。ビルマ人と共に各民族達は独立してビルマ連邦国を一緒につくるという要望でした。

1947年2月12日に各民族指導者達と共にビルマ人代表としてアウンサン将軍が署名して歴史的なピンロン協定が誕生しました。イギリスの植民地にされたビルマ王国(又)イギリス統治下のビルマとカチン、チン、シャン等自分達で統治する山脈地方が一緒に独立し連邦国をつくるように協定した訳です。

イギリス植民地にされる前に自由だったビルマ王国と自分達で自由に統治した民族であるソーバー、ドゥワー、タウンパインの所有領域をまとめてビルマ連邦国 Union of Burma は1948年1月4日に誕生しました。チン民族指導者達とビルマ人指導者達は1947年3月4日から6日まで Htee Lin 町にてチン-ビルマ友好会議を行い、ビルマ代表のアウンサン将軍の代わりに Dee Dote U Ba Cho がリードするビルマグループとウーワマトゥマアウンがリードするチン民族グループはチン-ビルマ友好協定を署名し、友好記念石柱も建てました。ビルマ東側のシャン地方、ビルマ北側のカチン地方、ビルマ西側のチン地方を合わせて連邦国を誕生させるためにとっても大事な合意事項であります。

イギリス植民地時代の時にチン地域全体はインド、ビルマ、バングラデシュ(元東パキスタン)という三つの地方に分けられました。この地域に複数のチン民族達が生活をし、違う言語を使用して来まし

た。このように使われている多種の各言語は民族を代表とし、名前も異なっています。合同独立を得られるよう計画をたてた際にチン民族とチン領域 (Chinland) は連邦国を始めに設立した民族、ビルマ連邦国をつくったチン領域 (Chinland) になれました。当時チン州と呼ばれずチンウィティタ区と呼ばれました。

王国制度、ソーブアー、ドゥワー統治制度から自由なビルマ連邦国になれた際、民主主義議会制度で国を統治するようになりました。我々のチン民族社会内でイギリス統治下の時代はソーブアー統治制度を利用した為、独立した後チン民族社会をどの制度で統治していくかに関して、1948年2月19日から22日まで Pha Lan 町でチン民族 5000人以上が出席する民族大会議を開催し投票を行いました。チン民族が民主主義議会制度で統治していくように決断しました。その会議にビルマの初大統領であるサッシュェエタイツが出席しました。

一緒に独立できた連邦国では現在までピンロン協定の内容を実現させられていません。1962年3月2日から今日まで様々な制度で国を統治している軍事独裁者達の下でビルマ国民全員、我々チン民族達も含めて皆自分達の権利、人権、民主主義権利を失われています。我々ご先祖達の領域や民族まで消滅するよう計画的に圧力をかけられて虐待されています。現在、母国のビルマは世界最貧国のリストに入り、国内戦争が起きている上に民族達の地域、所有物や命は毎日壊されています。

現在起きている問題などは民族側から始まった問題ではありません。民族達には問題ありません。政権を握り続けている独裁者達が原因であります。ビルマ人を含めて民主主義を望む各民族や国民全員は不正選挙で形上だけ変わった軍事独裁者達を反対し、いなくなるように努力する事を発表致します。

- (1) ZNC 政党議会で発表した Ka Lay 町発表事項の内容である分配せずに真の連邦国の誕生を賛成致します。第二のピンロン及び 21 世紀のピンロン議会の開催を賛成致します。
- (2) 政治犯達を解放するよう、話し合って交渉する方法で政治問題を解決するようを要求します。
- (3) ピンロン協定の内容を無視して定めた 2008 年憲法を基にして行われた 2010 年選挙で構成された新政権は国民や民族を代表とする政府ではないことを発表致します。
- (4) 連邦国が継続し、平和に発展させるためには現在の形上に政府が民族の団結を目的として交渉する方法で政治問題を解決すべきであります。もし民族国民達のことを考慮せず自分達の政権が続けられるよう行動するとしたら国の状況はさらに悪化することを告示します。
- (5) 我々チン民族は連邦国が継続できるよう、皆が平等に権利を得られる連邦国が誕生するよう第二のピンロン及び 21 世紀のピンロン協定を実現させられるまで活動し続けることを告示します。

チン民族協会 (日本)